

平成22年11月10日

各 位

本社所在地 東京都渋谷区恵比寿一丁目19番19号
会社名 株式会社ゲームオン
代表者 代表取締役社長 鄭 起泳
(コード番号: 3812 東証マザーズ)
問合せ先 経営管理部長 松本将司
電話番号 03-5447-6320 (代表)

通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、平成22年11月10日開催の取締役会において、平成22年12月期第3四半期における業績の進捗状況及び今後の事業環境を勘案し、平成22年7月14日に公表いたしました連結業績予想及び配当予想を下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正について

(1)平成22年12月期通期業績予想数値の修正(平成22年1月1日～平成22年12月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 7,541	百万円 709	百万円 803	百万円 297	円 銭 3076.95
今回発表予想(B)	6,017	256	329	53	548.26
増減額(B-A)	△1,524	△453	△474	△244	
増減率(%)	△20.2	△63.9	△59.0	△82.2	
(ご参考)前期実績 (平成21年12月期)	6,865	1,371	1,473	828	8,570.01

(2)業績予想の修正理由

当第3四半期連結累計期間におきましては、引き続き「Soul of the Ultimate Nation」が当初の見込みを超えて売上を伸ばしており、「Alliance of Valiant Arms」の躍進が業績に寄与しております。しかしながら一方で、サービスを開始し一定期間を経過したタイトルにおいて業績の不振が継続し、新規タイトルにおいても当初想定していたサービス開始時期に遅れが生じております。こうした状況を背景に、当第3四半期会計期間以降の売上高は、予想を達成することが難しい情勢となりました。

費用面においては、広告宣伝費のさらなる効率化や外注費の削減など、通期にわたって販売管理費を圧縮してまいりましたが、上記の売上高減少要因が影響し、営業利益、経常利益、当期純利益のいずれも通期業績予想に対して未達の見込みとなっております。

なお、平成22年7月14日に発表しましたように、第2四半期連結会計期間において、オンラインスポーツゲーム「EA SPORTS™ FIFA Online 2」に関する長期前払費用における減損損失252百万円を、特別損失として計上しており、当該事項により当期純利益の見通しは大きく減少しております。

(3) 今後の方針

当社では、第4四半期連結会計期間以降において、「ALLODS ONLINE」「LuviniaSaga」(注)の2タイトルの正式有料サービスの開始を予定しております。「ALLODS ONLINE」は開発元ロシアにおいて現在最も注目を集めている作品であり、「LuviniaSaga」は中国の大手ゲーム開発会社兼パブリッシャーである Shanda Games Limited が開発した作品です。両タイトルは日本のオンラインゲーム市場においても、大きな注目を集めており、今後の当社の業績にも大きく貢献するものと想定しております。また当社は、韓国の著名なオンラインゲーム開発者が手がける「Lime Odyssey (仮)」をはじめ、3タイトルの有力なオンラインゲームの運営サービスの開始をすでに予定しており、さらに「銀河英雄伝説」「電脳コイル」といった日本の著名なコンテンツのブラウザゲーム化及び運営サービス開始も予定しております。

現在、日本のオンラインゲーム市場では、SNS 関連企業が提供をするソーシャルゲームやブラウザゲームが台頭し、家庭用ゲーム機向けソフトの大手メーカーからも著名シリーズのオンライン版の提供が開始されるなど、業界内での構造の変化を伴いながら競争が激しさを増しております。当社では、こうした市場環境の変化を見据え、韓国の手強いオンラインゲーム企業ネオウィズ・ゲームズ・コーポレーションを事業戦略上のパートナーとし、有力なオンラインゲームタイトルの獲得、開発中タイトルへの先行投資、新規事業開発など競争環境の変化への対応を進めております。

当社は今後も、中核事業であるオンラインゲーム運営サービスにおいては、新規タイトルの継続的な導入を図るとともに、ソーシャルゲームやブラウザゲームなどの新しいコンテンツの提供、海外への事業展開、ゲームポータルサイトの充実などへ積極的に取り組み、中長期的な成長性を確保するべく事業を推進してまいります。

(注) 「LuviniaSaga」は平成22年3月31日に独占ライセンス締結を発表いたしました「Luvinia Online(仮)」の日本における正式名称です。

2. 配当予想の修正について

(1) 修正の内容

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	年間
前予想 (平成22年8月9日)	—	—	—
当期実績	—		
今回予想	—	0円00銭	0円00銭
前期(平成21年12月期)実績	—	2,000円00銭	2,000円00銭

(2) 修正の理由

当社は、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要事項と認識しており、中長期的に継続して配当を行うことを目指し、業績の推移・財務状況、今後の事業・投資計画等を総合的に勘案し、内部留保とのバランスを取りながら検討・実施していく方針としております。

平成22年12月期の普通株式の配当につきましては、これまで未定としておりましたが、当社グループにおける経営環境は従来の予想に比べ厳しく、売上高の減少等に伴い当期純利益の水準が低下することから、まことに遺憾ながら無配とさせていただきたいと存じます。

当社は、今後も株主の皆様に対する利益還元を経営における重要事項と認識し、より一層の成長性を確保するべく積極的に事業展開を行ってまいります。株主の皆様におかれましては、引き続き変わりなきご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

以上